

令和5年3月24日 市長定例記者会見 会見録

◆司会

それでは、ただ今から市長定例記者会見を始めさせていただきます。
市長、よろしくお願いいたします。

◆市長

よろしくお願いいたします。お集まりいただきまして、ありがとうございます。いよいよカウントダウンになりました。私の任期まで今日であと二十日であります。定例記者会見もラス前ですね、今日は。今日を合わせてあと2回であります。大事にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは今日の話は、静岡市下水道事業 100 周年記念デザインマンホール蓋のお披露目ということになりますね。これも本当に下水道、間に合わせてくれてありがとうございますということを申し上げたいと思います。令和5年度に本格展開をする事業でありますけれども、1923 年というから大正12年に、静岡市は下水道事業に着手をしました。この近辺の旧静岡市街から始まったわけですが、公衆衛生の向上を主な目的として、この事業に着手して、100 年後の今日では全長約 2,500 キロメートルが整備されております。これを7つの浄化センターで汚水処理をしているという、私たちの生活を支える重要な社会インフラとして整備されてきました。ということの中で、ある意味で社会インフラの中でも縁の下の力持ちというか、普段、当たり前のようにしている下水道ですが、100 周年をきっかけにもう一度、下水道事業というものに光を当てていこうと。また多くの市民の方々に、この役割と機能というものを知っていただこうと、こんな趣旨で令和5年度、この100周年記念事業を上下水道局下水道部を中心に展開していくという第一段が、このデザインマンホール蓋の披露ということです。これはSDGs的でもあるんですね。SDGs未来都市として、ご存じのとおりSDGsの目標12だったかな。作る責任、使う責任というのがありますけれど、とにかく循環型社会にしていこうということですね。ですので、やはり私たち人間が使った水はきれいにして海に戻すということも、これは成熟した都市の要件として、とても大事であります。そんなことを市民の皆さんに知っていただきたい一つのアイコンとして、『ちびまる子ちゃん』のデザインマンホール蓋をご披露いたします。もう5年前かな、2018年、平成30年にさくらももこ先生が、生前に、このマンホール蓋をご寄贈いただいた後、そして、今、JR清水駅と静鉄新静岡駅の周辺に一つずつ設置されておりますね。その流れの中で、今回さくらプロダクションさんが、ご協力していただいて、このようなお披露になったということになりますので、ここでご披露させていただきます。

ます。ではお願いします。

ドラムロールはなかったけれど、こちらが静岡市下水道事業 100 周年記念したちびまる子ちゃんのデザインマンホール蓋であります。ここで、さくらプロダクションからコメントも頂いておりますのでご披露いたします。

◆戦略広報監

このたびは静岡市下水道事業 100 周年おめでとうございます。こうしてお祝いできることを大変うれしく思います。今回、新たに3種類9パターンのマンホールをデザインさせていただきました。既存のものと合わせて、市内の広範囲11カ所にちびまる子ちゃんデザインのマンホールが設置されます。市民の皆様にはもちろん、全国各地から多くの方に見に来ていただき、さくらもこの生まれ育った静岡市が、より一層愛されるまちになることを、心から願っております。

◆市長

広報監、どうもありがとうございます。このたいへん温かなメッセージもいただきました。メッセージにありましたとおり、それぞれの区をイメージした3種類のデザインを制作してもらいました。そして、3パターンの配色テーマをいただいて、全部で九つのマンホール蓋が制作することができました。そこで、スライドを使って紹介いたしますが、向かってこっち側ね。実物の向かって左側、これが葵区に設置されるデザインです。おなじみのまる子と友蔵じいさんですね。友蔵が旧東海道を歩いている様子を表しています。葵区の歴史と伝統を継承するというイメージであります。

中央、真ん中が駿河区に設置されるデザインです。これはまるちゃんとたまちゃんが仲良く手をつないでいる様子で、文教地区、大学や図書館、グランシップなどが立地している、若者がたくさん住んでいるという駿河区のイメージを表現しています。

そして、向かって右側が清水区に設置されるデザインです。ここでは花輪君を登場させて、花輪君のバタくささというか、海外、世界をイメージする清水区にふさわしい清水港を有する、そんなイメージで背景の輝く水辺の景色で、川や海をきれいに保っているという様子も表現しております。なお、この三つのデザインマンホール蓋は設置予定箇所でありますけれども、このスライドにありますとおり、葵区のものは歴史博物館の周辺、駿河区のものはグランシップの周辺、そして清水区のものにはエスパルスのドリプラの周辺に、それぞれ設置する予定です。設置の時期は来月下旬から5月下旬にかけて、順次やっていきます。それで、全部九つありますので、ここに図示してありますけれども、

7月の下旬までには、静岡駅とか、新清水駅とか、日本平動物園とか、そういったところに色違いのデザインホール蓋を、それぞれ設置するという計画であります。ここで、ぜひ、お伝えをいただきたいのは、そこでなんですけれども、これから数カ月をかけて、それぞれの場所に行くわけですけど、この9枚のデザインマンホールが一斉に見られると、9枚全部を披露するという試みを明日、3月25日土曜日から4月16日の日曜日の3週間の間、エスパルスのドリプラのちびまる子ちゃんランドの横にて、一斉に、この9枚を展示したいと思います。9枚一堂に見られるのは、この機会オンリーでありますので、ぜひ、ご家族で、この9枚を見に来て、ちびまる子ちゃんランドに来てもらって、写真なんかも撮ってもらえればな、ということをしてPRしたいと思います。

そして、冒頭申し上げましたとおり、新年度に入って本格的に、この記念事業が始まっていくわけですけども、今、考えているのは、ポスターコンテストをやろうと、これも10歳のお子さん、小学校4年生のお子さんを対象にしてポスターコンテストをして、これを啓発のコンテンツにしていこうということでもあります。

いずれにしましても、その目的は、生活に欠かせない日常的な社会インフラである下水道の機能ということ、今一度多くの市民の皆様にご存知いただくということにありますので、ぜひ、ご協力をよろしくお願いをいたします。私からは以上です。

◆司会

それではただ今の発表につきまして、皆様からご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。発表案件につきましてはいかがでしょうか。

それでは、続きまして幹事社質問に移りたいと思います。読売新聞さん、お願いいたします。

◆読売新聞

幹事の読売新聞です。よろしくお願いをいたします。二つ質問を用意しています。一つ目は、来月1日で旧静岡市と清水市の合併から20年を迎えます。田辺市長が若かりし頃、合併推進の旗振り役を務められたことを、たびたび議会などで公言されています。合併で静岡市は政令指定都市になりましたが、清水区では旧静岡市との格差が残ったままだと感じている区民もいらっしゃいます。合併は旧清水市民にとって、どんな恩恵をもたらしたのか、あるいは、これからはもたらすのか教えてください。

◆市長

ありがとうございます。もう有形無形の恩恵が清水区民の皆さんにもあるというふうに思いますし、また市長に就任してから12年間、そのことについて、私は、ずっとずっと伝え続けてきたというふうに自負しております。ただ、今年合併20年の年ですけれども、まだまだ、本当に裾野の皆さんに、そのことが浸透しているかという、もっともっと情報発信をしていかなければいけないというふうにも思っております。ですから、いい質問をいただいたと思いますので、この機会に、もう一度、記者の皆さんにも、このことをお伝えしていただきたいという願いを込めて、例えばですけれども、さっき、下水道の話をしましたけれども、市民生活に直結する恩恵、メリットというのは合併したことによってたくさんあるんですよ。

象徴的なことを、まず二つ挙げますと、まず一つはごみ問題です。旧清水市はごみ問題で悩んでいました。そして、施設が老朽化していたので建て替えなければいけないと言って、庵原地区の茂畑に新しい清掃工場の計画をしていたのです。でも、清掃工場って迷惑施設という部分もあるもので、なかなか逡巡をしていたんですね。合併したことによって、茂畑に新しい清掃工場を造らなくても済むようになりました。ですから、現在では清水区民のごみというのは、全部葵区の二つの清掃工場が処理をしています。葵区の清掃工場近隣の皆様にもご理解をいただいた上で、ちょっとごみ、清水の分が増えるけれども、それでも高性能の二つの清掃工場があるから清水区の方も、ここで処理できるということになりまして、それで合併の後、2010年に、私が市長になる1年前ですけれども、平成22年には旧静岡市域にある西ヶ谷清掃工場を再整備し、現在は同じく旧静岡市域の沼上清掃工場の二つの施設で旧清水市域から発生するごみも含め、市内全域のごみを処理しております。まずこれ1点目ですね。

二つ目は市立の小中学校の環境整備、清水区内のね。これも合併によって劇的に進みました。合併の前は旧静岡市の小中学校の耐震化率が校舎はおよそ約95%、体育館は約75%進んでおりました。それに対して旧清水市では校舎がおよそ65%、つまり旧静岡市に比べて30%ぐらい少なかったわけですね。体育館はおよそ35%、40%ぐらい低くて、すごく格差があったわけですね。そこで、合併後、旧清水市域の小中学校の耐震化を集中的に優先的に進めました。そして、現在では静岡市内の全部の小中学校の耐震化率は、校舎であっても体育館であっても100%になっています。これは、合併しなければ今、清水区内の小中学校がそうなったかどうか、限りません。これもメリットであります。

耐震化が一番大事なんですけど、耐震化だけじゃありません。

◆市長

清水区内の小中学校のトイレも非常に老朽化が進んでいたんですね。例えばある小学校では、まだ男子と女子の間仕切りさえなかった。混合だったんですね。これはやっぱり女子の子どもたちはなかなか使いづらいですよ。ですがそれが残ってた。そこのところをちゃんと区分けをすとか、あるいは洋式トイレ化すとかいうトイレリフレッシュ計画というもの。これは国からのお金も入れまして、旧清水地域の小中学校のトイレを環境整備を重点的に行って、現在6割以上のトイレが洋式化されております。この二つが象徴的なんですけども、あとマリナート、コンサートホールですね。あれなんかも合併がもたらした事業であります。従前は清水桜が丘高校のところに市民文化センターという、すごく小さなコンサートホールしかなかった。それもすごく老朽化をしています。それも建て替えということが議論あったけど、なかなか手につかなかった。でも、合併したことによって、記念事業としてどんと駅の東口にマリナートという素晴らしいコンサートホールが整備されたわけでありまして。例えばトヨタタイムズ。トヨタの車でいうと今までアクアに乗っていた、急にクラウンに買い替えたという感じでしょうかね。そのくらいスペックが高くなったわけです。実際マリナートはあそこで演奏するアーティストの方々に大変好評です。それから興行主、プロモーター、主催者の方からも、音響設備もいいし控室も整ってるし、コンサートホールとして高く評価をされているので、とても稼働率が高くて現在多くの公演が行われています。葵区や駿河区からも今、マリナートのほうにコンサートを見に行くというような動線もできております。そういった意味では、市民の皆さんに質の高い芸術文化の鑑賞機関を提供していると。JR清水駅からペDESTリアンデッキで直結してますので、雨に濡れなくてコンサートホールに入れるわけですね。そういう意味では静岡の市民文化会館よりも利便性が高いわけですね。これも合併効果であります。これおそらく、なんとか私が市長就任以前にもう建設が進んで、私はオープニングだけやったんですけども、あれ3・11の大震災の後に着工が遅れてたら反対運動に遭ったでしょうね、桜ヶ丘病院とおんなじように。なんだと、津波想定域にコンサートホールを造るなんてなにごとだと。おちおち音楽なんか聴いてられないと。特に公設でしたのでそうなったでしょうね。でもぎりぎりセーフだったわけです。ぎりぎりセーフで、今は本当にたくさんの市民の方々にぎわうコンサートホールとして使われていると。だからやっぱりこういうことって、まちづくりっていうのは中長期的に見なければいけないということを私は強調しておきたいというふうに思っています。ですので桜ヶ丘病院ももう撤収するかもしれないという危機的な状況からなんとかJCHO、尾身会長のご理解をいただき清水に留置をすると。その代わり交通アクセスのいいところということで、われわれにとっては大変

大切な市有地である駅前の東口公園を提供することによってJCHOと合意ができた。ただ清水という町は港町で、海拔の低いところから中心市街地が形成されてますので、3・11以降全部津波想定域です。でもあれを高台に公共施設持っていくとあの周辺の資産価値も下がってしまう。それよりもエリアとして津波に強い、防災に強いというまちをつくっていくということが行政としては大事だし、病院も耐震、津波に大丈夫な堅牢な建物にするから大丈夫だよということでこの前、起工式をした。

◆市長

これも清水区の医療体制を守っていくためには非常に大事な私は行政課題を解決できて、清水の皆さんにメリットがあると、これは清水だけじゃなくて由比、蒲原の皆さんにもメリットがあると。2年後に開院いたしますけども、おそらく5年10年たったらあの時は田辺に反対だった、あるいは静岡市はあんなところになんで土地を提供したんだというふうに思ってたけども、これでよかったなというふうに思ってもらえる日が来ることを夢見て私も今まで反対運動を乗り越えてきたわけですけども。長くなってしまいましたけども、日常生活に大事なインフラの整備からマリナートまで、ほんとに合併したことによって清水のまちづくりが進んだということ、これが恩恵なんだということをお伝えをしたいというふうに思います。私からは以上です。

◆読売新聞

ありがとうございました。続いて2問目を伺います。静岡新聞さんの報道によりますと、市議会の観光文化経済委員会でNHK大河ドラマ『どうする家康』主演の松本潤さんの来静を要請していると担当課が説明したそうです。正直、松本潤さんが浜松まつりに参加されると聞き、なぜ静岡まつりに来ないのかと静岡市民としてがっかりしておりましたが、これは一体どういう経緯があってこういう状況になったのでしょうか。市から働き掛けたのでしょうか。駿府が再び舞台になるドラマの後半に呼ぶのでしょうか。もし現在の交渉状況などについて可能なら教えてください。

◆市長

これはNHKさんが差配をしているんですね。それでやっぱりドラマの舞台と合わせて、そういう俳優さんをそこに赴かせるということであるそうです。ですのでちょうど浜松まつりの時期に家康が浜松で三方ヶ原の戦いなのかな。そういうドラマを展開をするということなので、そこに入れたということです。事程左様に次の日曜日のドラマのタイトルご存じですか。

◆読売新聞

氏真の話ですか。

◆市長

そうなんです。氏真なんですね。氏真が武田信玄から攻められるということなので、このタイミングに合わせて氏真役の溝端淳平さんが静岡まつりに来てくれるんですね。今川氏真にスポットが当たるこの絶好のタイミングで、氏真を演じる溝端淳平さんに静岡まつりの大御所花見行列に参加をしてもらいます。大いに静岡まつりを盛り上げていただければなというふうに思ってます。以上です。

◆読売新聞

ごめんなさい。それで松本潤さんの話は、要するにそうするとドラマの進行に合わせて私が質問したとおり、後半に呼ぶ方向で調整が進んでるっていいんですか。

◆市長

そうです。松本潤さんもまた駿府が家康公の舞台になった時には来てもらえるようにしてほしいということは再三私の、静岡市のほうから働き掛けています。

◆読売新聞

今働き掛けていて、それに前向きな返答があったということでもいいんでしょうか。

◆市長

コミュニケーションを図ってます。前向きっていうのはNHKさんが決めることですので、そこまで私は言えません。お願いをしてるということです。

◆読売新聞

秋にそういう静岡まつりとか浜松まつりのようなイベントはありますかね、秋以降に。

◆市長

いや、分かりません。

◆読売新聞
なるほどね。

◆市長
でも来てほしい。松本潤さんに来てほしいと私個人的には思っています。

◆読売新聞
取りあえずNHKさんに要請して調整を続けてるっていうことで。

◆市長
ただ松本潤にこだわってらっしゃるんですけども、そうではないんですね。ですからドラマの展開によって、これもすごくNHKにとっては新しい試みですけども、その時放送されるドラマの舞台に、その地域を盛り上げるために主演する方々を配置していくとか差し向けて、氏真の溝端さんが来てくれたねということでまた視聴率が上がればいいと、そういうような考え方の方ですので、それはぜひご理解をしていただければなど。

◆読売新聞
すいません。こだわるようで申し訳ないですけど後半、大御所時代は駿府が舞台になって、中心人物は松本さんじゃないですか。

◆市長
大御所という脚本がこれから出てくれば、そういうことになると思いますよ。

◆読売新聞
ありがとうございました。

◆市長
脚本の終わりがどのぐらいかご存じですか。

◆読売新聞
NHKの記者さんが死ぬまでやるっていうふうなことをレポートされてたような。

◆市長
じゃあ期待できるでしょうね。期待できますね。

◆読売新聞

はい。

◆司会

それではまずは幹事社質問に関連してのご質問をお受けをしたいと思います。皆さまいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では中日新聞さん、お願いいたします。

◆中日新聞

中日新聞です。大御所花見行列について、市長は今川義元役で2日に出られますけども、過去2回目ですかね。今回が2回目ということで、さらに選挙期間中に出馬されずに義元公に今年はなるということですけども、その辺りはいかがでしょうか、意気込みも含めて。

◆市長

いかがでしょうか。もし今回選挙に出馬をしてたら選挙運動一辺倒ですので、こんな今川義元公で静岡まつりを楽しむなんてことはできなかったと思います。今回退任ということなので、だったらせっかくだから義元公を受けてくれないかという申し入れがありましたので私は喜んで、私でいいのならば。前回、今川義元公に扮した時には、私の後ろにいた大御所役の鈴木福君に取られちゃいました。鈴木福ちゃんにどうしても注目がいきますからね。でも今川義元公させていただいたっていうのは光栄でもありますので、今回最後だからというご厚意もあってそういう申し入れがありました。また私の地元の沓谷の龍雲寺が義元公の母上の寿桂尼の菩提寺なんですね。ですので地元の方々、歴史を愛する会とあと檀家の皆さんが、寿桂尼もせっかくだからこのドラマの時に、今年ぜひ行列に参加させてほしいという要望を頂いて、私もそれを受けました。なのでこの大御所行列に寿桂尼が初登場します。そして地元の方が、女性の方が寿桂尼のコスチュームを着て、だから親子共演ですよ。そういう形で祭りを盛り上げていただくと。それでこういう市民参加型、こういう祭りもいいんじゃないかなというふうに思っています。

◆中日新聞

ありがとうございました。

◆司会

その他、幹事社質問関連のご質問はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ではその他のご質問をお受けしたいと思います。静岡朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビと申します。よろしくお願いいたします。

◆市長

お願いします。

◆静岡朝日テレビ

以前から同じ質問で恐縮なんですけど大学の再編について、1法人1大学とか1法人2大学とかいろいろ出ているんですが、ここで改めまして静岡市のスタンスを整理してお伺いできればなと思うんですがいかがでしょうか。

◆市長

静岡市のスタンスは大学自治を尊重するという立場であります。

◆静岡朝日テレビ

浜松市とはやはりちょっと違うスタンスという認識でいいですか。

◆市長

そうですね。これは日詰学長も発言をされていましたが、大学自治という当事者の意に反する形で期成同盟会を発足させたということは大変残念だと私も思います。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございます。

◆司会

その他いかがでしょうか。SBSさん、お願いいたします。

◆SBSテレビ

SBSテレビです。よろしくお願いいたします。すいません。先日の日詰学長は会見でモデルチェンジ案というのを半年とはっきりは言わなかったですけど、

数カ月で示したいと言っておりましたが、市長としてはその辺に着地点とか見えそうな感じはお持ちでしょうか。

◆市長

モデルチェンジ案に期待をしています、私。私はこれからの静岡大学は県の東部地域にも視野を広げてモデルチェンジをしてほしいなというふうに思います。だから全県的なユニバーシティ総合大学として多種多様な学部を擁するというような大学として、ポスト 100 年発展してもらえればいいなと。その一つのビジョンを示すようなモデルチェンジ案になってもらえれば、今はどうしても静岡キャンパス中部と浜松キャンパスですので、中部西部ですよね。ですので東部地域にも何か拠点をつくるとか、そういう形で受け皿が大きい大学。それがやっぱり留学生を増やすことにもなっていくし、グローバル化学共創部（正しくはグローバル共創科学部）が今年の4月から発足をしますけれども、地域創造学環という、非常にこれも新基軸の取り組みで人気のあった学環ですが、それが発展的に今回の新しい学部になるわけですよね。学生募集非常に順調だというふうに聞いてます。そういう流れとか、今時代が求める学部像というものを視野に入れたモデルチェンジ、そして地形的には県東部も視野に入れたモデルチェンジというものを期待しています。

◆SBSテレビ

そうするとかなり日詰さんの考え方には期待をされている。具体的になんか聞いたりはされているでしょうか。

◆市長

今、目下目下で今年度中にとりまとめるっていうことをおっしゃってましたので、なるべく早くお願いしますっていうことを伝えてあります。

◆司会

その他いかがでしょうか。

◆市長

もし企画局長からその辺りのところ。大丈夫ですか。

◆司会

その他はいかがでしょうか。静岡朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビと申します。よろしく申し上げます。今静岡市はプロ野球の球団を誘致しようとしているところだと思うんですけど、今回WBCで日本チームが優勝しました。このことについては市長、いかがでしょうか。

◆市長

いや、本当に嬉しかったですね。本当になんていうかな。ところで静岡朝日テレビよかったです。ほんとに史上最高視聴率を更新したということでおめでとうございます。野球というコンテンツの強さ、人気の高さということも今回痛感を感じましたが、先程の質問に戻りますと本当によかった。私自身は諦めない心ということ、子どもから私たちまで教えてくれたなというふうに思います。私いつも若い方々に、あるいは自分が恩師から言われたことで、将来の人生において自分が思った以上の自分には決してならないと教わったんですね。だから自分の力を自分自身で限定せず、なるべく高いところに目標を置くと。それ以上にはなれないわけだから、自分が思った以上の自分には決してならないんだよということ、私自身にも課してきましたし、若い方々にも伝えてきました。まさにそれを証明してくれましたよね。だから大谷選手が憧れじゃ駄目なんだよと。それを超えてかなきゃ駄目なんだよと、アメリカ戦の前にそういうふうに言ったのはご存じだと思いますけども、それがまさにそれなんですよね。憧れの存在じゃ超えられないんですね。自分の力を信じて、自分が思った以上の自分にはなれないんだと。よし、勝てるというふうに思うことによって、あのゲームがチーム全員に士気向上をもたらし、ああいう形の劇的な優勝になったんだろうなというふうに思います。それからもう一つ、大谷にどうしても注目が集まりますけど、私は宇田川優希選手が出場したと。中継ぎで少なかったけども宇田川選手、バファローズのね。彼が今回侍ジャパンに選ばれたということもとてもうれしく思ってます、個人的に。彼は育成ですよ。育成の3位だったかな。ですので行くかどうか迷った。でもとにかく育成で育ててもらえるということで行ったわけですよ。それが少しずつ少しずつはい上がって今回日本代表に選抜をされたと。ほんとにこういうふうに最初からドラ1で注目を浴びる選手もいれば、やっぱりこれは普通の社会とおんなじですけども、いろんな人生経路があるわけですよ。そういう中で最初は目立たなかったけれども、自身の努力でだんだん精進をして、そして日本代表に。そういう宇田川優希選手のような選手がここに選ばれた。

◆市長

これは栗山監督の素晴らしさなのかなというふうに思いますし、これもすごく

諦めない心を持つというふうに勇気を示してくれたんだらうなど。これは来シーズン、イースタン・リーグから静岡ハヤテ球団が誕生するかもしれないと。そこも最初は選手集め苦労すると思うんですよ。なかなか他のチームには声が掛からないというところからのスタートかもしれないけども、そういう選手をとにかく育てていきたい。静岡のチームだから僕ら応援をして育てていったって、そういう静岡球団から育った選手が将来侍ジャパンで活躍するようになったらこれはうれしいなど。そんなことで宇田川選手に思いを私は個人的には寄せました。

◆静岡朝日テレビ

すいません。ありがとうございます。

◆司会

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは以上で本日の記者会見を終了させていただきます。次回は4月の7日の金曜日11時からの予定となります。本日はありがとうございました。